

令和2年度淀川区区政会議 第1回教育・子育て部会 議事要旨

日 時：令和2年10月2日（金）午後6時40分～午後7時36分

場 所：淀川区役所 5階 501会議室

出席者：

・委員名（7名中）

石田委員、西澤委員、米田委員、中道委員

[欠席委員：泉水委員、川合委員、英委員]

・区役所

松尾政策企画課長代理、井上教育支援担当課長、佐多教育支援担当課長代理、武田保健・子育て支援担当課長、森川保健副主幹、越智保健福祉課担当係長 ほか

内 容：

1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

資 料：

【当日配布資料】

- ・次第
- ・区政会議部会名簿
- ・座席表
- ・よどマガ10月号

【事前配布資料】

- ・（資料1）区政会議（部会・全体会議）においてご意見をうかがいたい内容
 - ・（資料2）令和2年度 運営方針重点的に取り組む主な経営課題（概要版）
-

1. 議 題

(1) 令和2年度淀川区運営方針の中間振り返りについて

○ご意見を頂きたい点について説明。（松尾政策企画課長代理）

○経営課題2 学校教育支援の充実の具体的取組2-1-1～2-1-3について説明（井上教育支援担当課長）

- ・ヨドジュクのプロセス指標の目標について、参加した生徒を対象に「週5日以上自宅学習に取り組む」割合が30%「学力検証結果を比較し、2回目の検証結果が上昇した生徒」の割合が60%と設定しているが、参加している生徒が

55名しかないということであれば、この指標で効果が計れるのか。(中道委員)

- ・評価の指標については、「週5日以上自宅学習に取り組む」ではなく毎日の方がいいのではないかと。勉強だけでなく本を読むとか、少しでも机に座って何かするということが毎日できればいいのではないかと思います。(石田委員)
- ・地域の福祉会館なども借りるという方法をとれば、場所も増えるし、自分の校区内にあると行きやすくなるのではないかと。(米田委員)

⇒参加生徒数については、1校当たり20名弱。また、「週5日以上自宅学習に取り組む」という指標は、文部科学省の生活実態調査を参考にしている。

会場の確保については、他区の情報も集めてみる。しかし、会場を増やす場合には、事業者にとって採算が取れるかどうかを検討する必要がある。生徒の需要がどの程度あるのか市場調査もした上でなければ開設できないので、そこは検討しなければならないと思っている。(井上教育支援担当課長)

- ・小学生の補習事業について、学校によっては、宿題をしたり、ほかの課題があってそれを提供したと聞いているが、学校ごとに何を勉強するかの違いを教えほしい。(米田委員)

⇒それぞれ学校の考えがあるので、学校に計画の立案を任せている。(井上教育支援担当課長)

- ・補習授業に申し込むだけ申し込んで、行かない人がたくさんいると思うので、実質の参加人数は、ここに書かれている数ではないのではないかと。(石田委員)

⇒その点については確認する。(井上教育支援担当課長)

○経営課題2 学校教育支援の充実の具体的取組2-1-4について説明(越智保健福祉課担当係長)

- ・参加者の中には不登校の児童・生徒も含まれるのか。生活困窮の家庭に呼び掛けて希望した子どもが来ているのか。(中道委員)

⇒現在来ている生徒の中には不登校の生徒はいない。貧困からの脱却、負の連鎖を断ち切るということでその進学率を上げる、また小さな子どもに関しては、学習の習慣を身につけるというところを一つ目標としている。生活困窮制度になるので、生活保護世帯が主な対象になっているが、ひとり親家庭のお子さんでも参加できる。(越智保健福祉課担当係長)

- ・対象の学年が幅広いということもあって個々に学力差もある。宿題を教えてほしいという希望もあれば、もっと詳しいところを教えてほしいなど、いろいろなニーズがあり目標設定そのものが難しいのではないかと。(西澤委員)

⇒3人に1人の講師をつけて、きめ細かく目の行き届くような形で対応をしているが、指摘のあったとおり、全学年共通のターゲット絞って、適切な目標を

設定するのは難しい。(越智保健福祉課担当係長)

○経営課題 2 子育て支援の充実の具体的取組 2-2-1~2-2-2 について説明
(武田保健・子育て支援担当課長)

- ・地域子育てサロン助産師巡回相談事業はコロナ禍で延期になっているが、助産師さんが来るのはありがたいと思うので、多くの方に参加してほしい。(米田委員)

⇒この事業を委託している事業者の方から情報発信をするので、それを見てもらい、子育てサロンに参加してほしい。(武田保健・子育て支援担当課長)

- ・地域子育てサロン助産師巡回相談事業の目標は、子育てサロンの参加者の新生児の割合ではなく、淀川区に住んでいる新生児の子育てサロンへの参加率の方がいいと思う。現在の子育てサロンは活発に外に出られる保護者の方が多く利用しているので、今の指標であれば、本来子育てサロンを利用してほしい引きこもりがちな保護者の方の数字が表れないのではないかな。(中道委員、石田委員、米田委員)

⇒0歳児のお子さんを持っている保護者の方が出かけやすい場所としては子育てサロンもあるが、つどいの広場や一時預かりに預けて出かけたりということもあるので、子育てサロンの参加者の中の新生児の割合を目標にしている。しかし、提案された指標の考え方については、この事業に限らず少し大きな視点での検討課題になるかと思う。(武田保健・子育て支援担当課長)